

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06319094  
PUBLICATION DATE : 15-11-94

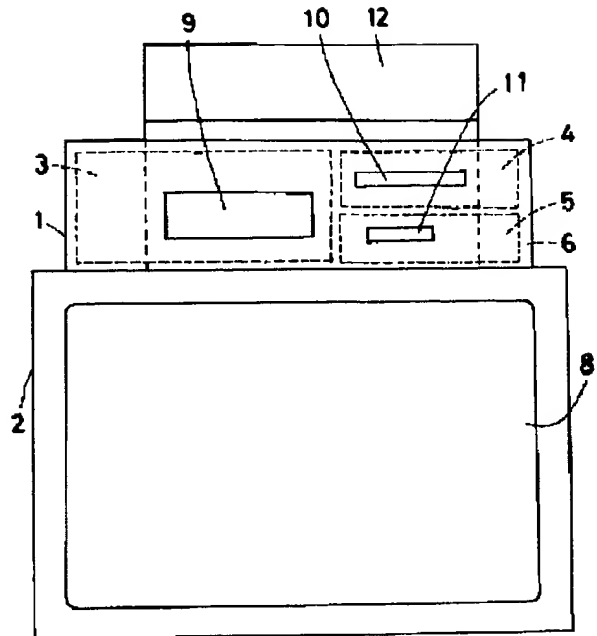
APPLICATION DATE : 16-04-93  
APPLICATION NUMBER : 05090111

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : YAMAMOTO KOJI;

INT.CL. : H04N 5/64 G11B 15/02 G11B 19/16  
G11B 31/00 H04N 5/00 H04N 5/44  
H04N 5/782 H04N 5/91

TITLE : TELEVISION EQUIPMENT AND ITS  
REMOTE CONTROL DEVICE



ABSTRACT : PURPOSE: To make it possible to enjoy video and music only by one piece of equipment by fixing a chassis equipped with a VTR deck, a disk player, a tape deck, and a radio tuner to a cabinet equipped with a cathod-ray tube(CRT).

CONSTITUTION: The chassis 1 equipped with a VTR deck 3, a disk player 4, a tape deck 5, and a radio tuner 6 is fixed to the cabinet 2. The player 4 and the decks 5, 3 are respectively provided with medium loading ports 9 to 11 in front of them. The loading ports 10, 11 are arranged on the left side close to the loading port 9 at the time of observing them from the front. Consequently the loading ports 9 to 11 can gather the fronts of the player 4 and the decks 5, 3 in almost the center part viewed as a whole. The chassis 1 is fixed on the upper surface of the cabinet 2 so that respective loading ports 9 to 11 are oriented in the same direction as the front of the CRT 8. The CRT 8 is driven by a TV receiving part, the deck 3 and the player 4.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-319094

(43) 公開日 平成6年(1994)11月15日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/64	5 3 1	7205-5C		
G 1 1 B 15/02	3 4 6 Z	8022-5D		
19/16	5 0 1 E	7525-5D		
31/00	T	8322-5D		
H 0 4 N 5/00	A	9070-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平5-90111

(22) 出願日 平成5年(1993)4月16日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 菅嶋 一弘

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 黒崎 敏彦

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 江草 洋

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 介理士 宮井 暎夫

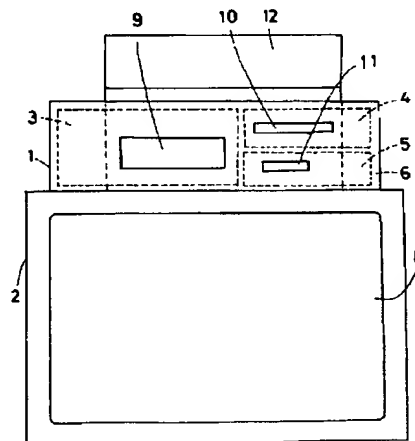
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 テレビジョン装置およびそのリモートコントロール装置

(57) 【要約】

【目的】 1 台の機器で映像や音楽の鑑賞を手軽に楽しむことができるテレビジョン装置を提供する。

【構成】 V T Rデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5およびラジオチューナ6を取付けたシャーシ1と、ブラウン管8を有してシャーシ1を固定したキャビネット2とを備えている。



1...シャーシ  
2...キャビネット  
3...V T Rデッキ  
4...ディスクプレーヤ  
5...カセットデッキ  
6...ラジオチューナ  
8...ブラウン管

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキおよびラジオチューナを取付けたシャーシと、ブラウン管を有して前記シャーシを固定したキャビネットとを備えたテレビジョン装置。

【請求項2】 ディスクプレーヤおよびテープデッキならびにVTRデッキはそれぞれ正面にメディア装填口を設け、前記VTRデッキはテープカセットをメディア装填口から長手方向に装填して録画再生可能な構成としかつメディア装填口を正面から見て右寄りに配置し、

前記ディスクプレーヤおよび前記テープデッキならびに前記VTRデッキは各正面の各メディア装填口を同方向に向け、かつ前記VTRデッキを正面から見て左側に配置するとともに前記ディスクプレーヤおよび前記テープデッキを積み重ねて正面から見て右側に配置した状態にシャーシに取付け、

前記シャーシを前記各メディア装填口がブラウン管の正面と同方向に向くようにキャビネットの上に固定し、前記各メディア装填口を開閉する一枚の開閉蓋を設けた請求項1記載のテレビジョン装置。

【請求項3】 ケースと、このケースに設けられて前記ケースに手を触れることにより請求項1記載のテレビジョン装置を動作可能とする第1のスイッチ手段と、前記テレビジョン装置のVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択および動作の制御を行う第2のスイッチ手段とを備えたテレビジョン装置のリモートコントロール装置。

【請求項4】 請求項1記載のテレビジョン装置を動作可能とする第1のスイッチ手段と、前記テレビジョン装置のVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択および動作の制御を行う第2のスイッチ手段とを備え、前記第1のスイッチ手段と前記第2のスイッチ手段とを積層状態に配置し、1個の押釦の押圧力により前記第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段のオンオフを制御するように構成したテレビジョン装置のリモートコントロール装置。

【請求項5】 請求項1記載のテレビジョン装置のVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択を行うスイッチ手段に対応した操作釦を有し、各操作釦の操作面に各選択対象に対応した識別マークを刻設したテレビジョン装置のリモートコントロール装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、テレビジョン装置およびそのリモートコントロール装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、VTR装置を備えたテレビジョン

装置や、ラジオ受信装置を備えたテレビジョン装置が知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、VTR装置やCD装置が普及するとともに、音楽や映像のソフトとして多種多様のものが普及することにより、映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しみたいというニーズが増大している。したがって、この発明の目的は、1台の機器で映像や音楽の鑑賞を手軽に楽しむことができるテレビジョン装置およびそのリモートコントロール装置を提供することである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 請求項1のテレビジョン装置は、VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキおよびラジオチューナを取付けたシャーシと、ブラウン管を有してシャーシを固定したキャビネットとを備えたものである。請求項2のテレビジョン装置は、請求項1において、ディスクプレーヤおよびテープデッキならびにVTRデッキはそれぞれ正面にメディア装填口を設け、VTRデッキはテープカセットをメディア装填口から長手方向に装填して録画再生可能な構成としかつメディア装填口を正面から見て右寄りに配置し、ディスクプレーヤおよびテープデッキならびにVTRデッキは各正面の各メディア装填口を同方向に向け、かつVTRデッキを正面から見て左側に配置するとともにディスクプレーヤおよびテープデッキを積み重ねて正面から見て右側に配置した状態にシャーシに取付け、シャーシを前記各メディア装填口がブラウン管の正面と同方向に向くようにキャビネットの上に固定し、各メディア装填口を開閉する一枚の開閉蓋を設けたものである。

【0005】 請求項3のテレビジョン装置のリモートコントロール装置は、ケースと、このケースに設けられてケースに手を触れることにより請求項1記載のテレビジョン装置を動作可能とする第1のスイッチ手段と、テレビジョン装置のVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択および動作の制御を行う第2のスイッチ手段とを備えたものである。

【0006】 請求項4のテレビジョン装置のリモートコントロール装置は、請求項1記載のテレビジョン装置を動作可能とする第1のスイッチ手段と、テレビジョン装置のVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択および動作の制御を行う第2のスイッチ手段とを備え、第1のスイッチ手段と第2のスイッチ手段とを積層状態に配置し、1個の押釦の押圧力により第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段のオンオフを制御するように構成したものである。

【0007】 請求項5のテレビジョン装置のリモートコントロール装置は、請求項1記載のテレビジョン装置の

VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンの選択を行うスイッチ手段に対応した操作鉤を有し、各操作鉤の操作面に各選択対象に対応した識別マークを刻設したものである。

【0008】

【作用】請求項1のテレビジョン装置によれば、VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキおよびラジオチューナを取付けたシャーシを、ブラウン管を取付けたキャビネットに固定したため、VTRデッキ、ディスクプレーヤおよびテープデッキの各カセットを使用することができるとともに、ラジオ受信およびテレビジョン受像が可能であるので、1台の機器で映像や音楽の鑑賞を手軽に楽しむことができる。

【0009】請求項2のテレビジョン装置によれば、請求項1の作用のほか、VTRデッキはテープカセットを長手方向に装填するメディア装填口を正面から見て正面の右寄りに設け、かつVTRデッキを正面から見て左側に配置したので、VTRデッキの機構部分が左側に位置することになり、この部分は蓋が不要となるので開閉蓋の小型化が可能となる。しかもメディア装填口がVTRデッキの正面からみて右寄りとなり機構部分が左側となることによりカバーロック解除ピンがVTRデッキの奥側となるのでテープカセットの挿入時の邪魔にならない。

【0010】請求項3のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、ケースを把持し第2のスイッチ手段を操作することによりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができることと、操作鉤を操作することなくケースに触るだけでテレビジョン装置を動作可能な状態にできることで操作容易になるとともに鉤数を削減できる。

【0011】請求項4のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、第1のスイッチ手段と第2のスイッチ手段とを積層状態に配置し、1個の押鉤の押圧力により第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段のオンオフを制御するように構成したため、第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段を操作することによりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、電源のオンと機器の選択が同じ鉤で行えるので操作容易になりかつ鉤数を削減できる。

【0012】請求項5のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、各操作鉤の操作面に各選択対象に対応した識別マークを刻設したため、スイッチ手段の操作によりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、操作鉤の識別マークに指を当て擦るだけで選

択対象を判別できるので暗がりの中でも操作が容易になる。

【0013】

【実施例】この発明の第1の実施例を図1ないし図10により説明する。すなわち、このテレビジョン装置は、シャーシ1をキャビネット2に固定している。シャーシ1は、VTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5およびラジオチューナ6を取付けている。これらのディスクプレーヤ4およびテープデッキ5ならびにVTRデッキ3は、それぞれ正面にメディア装填口9～11を設けている。またディスクプレーヤ4およびテープデッキ5ならびにVTRデッキ3は、各正面の各メディア装填口9～11を同方向に向け、かつVTRデッキ5を正面から見て左側に配置するとともにディスクプレーヤ4およびテープデッキ5を積み重ねて正面から見て右側に配置した状態にシャーシ1に取付けている。

【0014】そして、VTRデッキ3は図6ないし図10に示すように、テープカセット50をメディア装填口9から長手方向に装填して録画再生可能な構成とし、かつメディア装填口9を正面から見て右寄りに配置している。図6ないし図10において、58は機構部分、59はカバーロック解除ボタン、60はカバー、61はテープ、62は供給リール、63は巻取りリール、64はシリンドラヘッド、65は消去ヘッド、66は信号ヘッド、67はピンチローラ、68はカバーロック解除ピンである。

【0015】テープカセット50を長手方向にメディア装填口9に装填する場合、テープカセット50の構造上、メディア装填口9に対して正面からみて機構部分58を左側に配置しなければならない。すなわち、テープカセット50は図8ないし図10に示すように、カバーロック解除ボタン59を押してカバー60のロック状態を解除することにより、カバー60が図10の想像線のように開き、テープ61の前面が露出する。しかし、カバーロック解除ボタン59はテープカセット50の一方の端面、すなわち図9のカバー60の正面からみてカバー60の左側のみに設けられている。このため、機構部分58がメディア装填口9の右側に配置されると、カバーロック解除ピン68がメディア装填口9の近くに位置するので、テープカセット50の挿入時にカバーロック解除ピン68が邪魔になり、テープカセット50のセットに支障をきたす。したがって、VTRデッキ3のテープカセット50を長手方向にメディア装填口9に装填する場合、機構部分58がVTRデッキ3の正面からみて左側に配置しメディア装填口9は右側に配置するのが好ましい。

【0016】実施例では、ディスクプレーヤ4およびテープデッキ5のメディア装填口10、11を正面からみてメディア装填口9に近い左寄りに配置している。この結果、メディア装填口9～11がディスクプレーヤ4お

よびテープデッキ5ならびにVTRデッキ3の正面を全体的にみて略中央に集まる。キャビネット2は、ブラウン管8を有し、シャーシ1をブラウン管8の上側に固定している。実施例ではシャーシ1を各メディア装填口9～11がブラウン管8の正面と同方向に向くようにキャビネット2の上に固定している。

【0017】また各メディア装填口9～11を開閉する一枚の開閉蓋12を設けており、これは開閉蓋12の開閉状態の下端部の両側より延長したアーム（図示せず）をディスクプレーヤ4およびテープデッキ5ならびにVTRデッキ3の両側に配置してキャビネット2の内部の連結軸（図示せず）に軸支している。ブラウン管8はテレビジョン受像部（図示せず）、VTRデッキ3やディスクプレーヤ4により動作する。

【0018】なお、図2および図3において、51はリモートコントロール装置の受光部、52は電源表示ランプ、53は電源スイッチ、56は把手部、57はスピーカ開口、58はイヤホンジャックである。この第1の実施例によれば、VTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5およびラジオチューナ6を取付けたシャーシ1を、ブラウン管8を取付けたキャビネット2に固定したため、VTRデッキ3、ディスクプレーヤ4およびテープデッキ5の各カセットを使用することができる。とともに、ラジオ受信およびテレビジョン受像が可能であるので、1台の機器で映像や音楽の鑑賞を手軽に楽しむことができる。

【0019】また、VTRデッキ3はテープカセット50を長手方向に装填するメディア装填口9を正面から見て正面の右寄りに設け、かつVTRデッキ3を正面から見て左側に配置したので、メディア装填口9がシャーシ1の中央寄りに位置する。このように、メディア装填口9を中央寄りに配置した結果、VTRデッキ3の機構部分が左外側に位置することになり、この部分は蓋が不要となるので開閉蓋12の小型化が可能となる。しかもメディア装填口9がVTRデッキ3の正面からみて右寄りとなり機構部分58が左側となることによりカバーロック解除ピン68がVTRデッキ3の奥側となるのでテープカセット50の挿入時の邪魔にならない。

【0020】この発明の第2の実施例を図11に示す。すなわち、このテレビジョン装置は、シャーシ1をキャビネット2の天部とブラウン管8の後方寄りの間の空間13に配設し、メディア装填口9～11はキャビネット2の側部に向けている。この第2の実施例によれば、キャビネット2の天部とブラウン管8の後方寄りの間の余剰な空間13を利用してその空間13にシャーシ1を配設しているため、テレビジョン装置の小型化が図れる。その他は、第1の実施例と同様である。

【0021】この発明の第3の実施例を図12および図13に示す。すなわち、このテレビジョン装置のリモートコントロール装置は、ケース15と、第1のスイッチ

手段16と、第2のスイッチ手段17とを有する。ケース15は、図13に示すように手に把持できる大きさを有し、表面に各種の操作鈕を配置している。図中、18はテレビ／ビデオの切換鈕、19はラジオ／テープの切換鈕、20はCD鈕、21は電源停止用の赤鈕、22は操作不明のときに使用方法をブラウン管に表示するための鈕、23はたとえば緑色の画面設定鈕、24は音量調整鈕、25は選局鈕、26はポーズ鈕、27は録音／録画鈕、28は再生鈕、29は巻戻し鈕、30は早送り鈕、31は停止鈕、32、33は頭出鈕、34は画面に現れたカーソルを移動させるカーソルスイッチ鈕である。なお、鈕22は画面にリモートコントロール装置の絵を表示し、画面を見て操作する態様で操作説明を行うものとしている。

【0022】第1のスイッチ手段16は、ケース15に設けられてケース15に手を触れることにより第1の実施例または第2の実施例のテレビジョン装置36を動作可能とするいわゆるタッチスイッチである。第1のスイッチ手段16は符号化回路35に接続し、符号化回路35の出力端に赤外線発光ダイオード36を接続している。

【0023】第2のスイッチ手段17は、テレビジョン装置37のたとえば図1のVTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6およびテレビジョン（図示せず）の選択および動作の制御を行う。実施例ではテレビ／ビデオ切換鈕18、ラジオ／テープ切換鈕19、およびCD鈕20により操作される接点18a、19a、20aを有する。21aは操作鈕21～34で表される選局、音量その他の制御のための複数の制御スイッチの1つを代表例として示したものである。

【0024】37はテレビジョン装置であり、赤外線発光ダイオード36の光を受光する赤外線センサ38を符号化回路39に接続し、第1のスイッチ手段15の信号を受けてスイッチ15bが閉じ、画面メニュー表示回路40が動作しブラウン管に画面が表示される。また第2のスイッチ手段17のスイッチ18aの信号を受けてスイッチ18bが、スイッチ19aの信号を受けてスイッチ19bが、スイッチ20aの信号を受けてスイッチ20bが、代表例の制御スイッチ21aの信号を受けてスイッチ21bがそれぞれオンとなり、スイッチ18b、19b、20bのオンによりそれぞれのスイッチに対応する画面が選択され表示される。また接点21bのオンによりAVセレクト／チャンネル・音量の制御回路41が動作する。

【0025】この第3の実施例によれば、ケース15を把持し第2のスイッチ手段17を操作することによりVTRデッキ9、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6またはテレビジョン（図示せず）による映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことが

できるとともに、操作鈕を操作することなくケース15に触るだけでテレビジョン装置37を動作可能な状態にできるので操作容易になるとともに鈕数を削減できる。

【0026】この発明の第4の実施例を図14に示す。すなわち、このテレビジョン装置のリモートコントロール装置は、第1の実施例または第2の実施例のテレビジョン装置37を動作可能とする第1のスイッチ手段16と、テレビジョン装置37のVTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6およびテレビジョン（図示せず）の選択および動作の制御を行う第2のスイッチ手段17とを備え、第1のスイッチ手段16と第2のスイッチ手段17とを積層状態に配置し、1個の押鉤42の押圧力により第1のスイッチ手段16および第2のスイッチ手段17のオンオフを制御するように構成している。実施例では公知の技術を使用している。

【0027】また第4の実施例では、第1のスイッチ手段16の動作に連動してブラウン管8の画面に図13のリモートコントロール装置の表面の絵が表れ、リモートコントロール装置の現在押している鉤に対応する画面の中の鉤の絵をたとえば赤色や点滅等に表示し、つぎに第2のスイッチ手段17の動作に連動して鉤の赤色からたとえば青色に変化したり点滅周期を変化するように構成している。その他の構成は第3の実施例と同様である。

【0028】この第4の実施例によれば、第1のスイッチ手段16および第2のスイッチ手段17を操作することによりVTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6またはテレビジョン（図示せず）による映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、電源のオンと機器の選択が同じ鉤で行えるので操作容易になりかつ鈕数を削減できる。

【0029】この発明の第5の実施例を図15に示す。すなわち、このリモートコントロール装置は、第1の実施例または第2の実施例のテレビジョン装置37のVTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6およびテレビジョン（図示せず）の選択を行うスイッチ手段（17）に対応した操作鈕（18～20）を有し、各操作鈕（18～20）の操作面に各機器に対応した識別マーク44～46を刻設している。

【0030】図15（a）は図6のテレビ／ビデオ鉤18の表面のマーク44を示し、テレビ画面の正面の絵を凹凸に刻設し、指で触れるだけでテレビ画面の絵であることがわかるようにしている。図15（b）は図6のラジオ／テープ鉤19の表面のマーク45を示し、指で触れただけで内容がわかるようにラジオとカセットの正面の絵を重ねた状態に刻設している。図15（c）はCD鉤20の表面のマーク46を示し、指で触れただけで内容がわかるようにディスクを斜めからみた絵を刻設している。その他は第3の実施例と同様である。

【0031】この第5の実施例によれば、スイッチ手段の操作によりVTRデッキ3、ディスクプレーヤ4、テープデッキ5、ラジオチューナ6またはテレビジョン（図示せず）による映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、操作鈕の識別マーク44～46に指を当て擦るだけで選択機種を判別できるので暗がりの中でも操作が容易になる。

【0032】この発明の第6の実施例を図16ないし図22に示す。すなわち、このテレビジョン装置は、VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナおよびテレビジョンを備えた構成であるため、機器の操作に不慣れな者でも、簡単に各機器を操作できるように、テレビジョン装置の画面を用いて現在使用中の機器およびその操作方法を使用者に知らせるように構成している。

【0033】具体的には、リモートコントロール装置からの信号をテレビジョン装置で受け、機器の選択の画面表示および選択された機器に対応した画面表示を行い、その表示に対応したリモートコントロール装置のキーを操作することにより、その機器をコントロールする制御をマイクロコンピュータ等により行うように構成している。

【0034】たとえば、図16（a）はテレビ放送の4チャンネルを選択している場合の画面表示例、同図（b）はVTRデッキの再生を選択している場合の画面表示例であり、画面の右上にそれぞれに対応したアイコン47と受信チャンネル、および機器の状態を示す表示48が表示されている。図17（a）はテープデッキを選択した場合の画面表示例、同図（b）はラジオを選択した場合の画面表示例、同図（c）はディスクプレーヤを選択した場合の画面表示例で、画面中央にそれぞれに対応したアイコン47と機器の状態を示す表示48が表示されている。なお斜線が入っている部分は選択している部分でたとえば色を変えるようにしている。

【0035】図18ないし図22は、それぞれテープデッキ、ラジオ、ディスクプレーヤ、テレビ、VTRデッキを選択し、各機器を操作するための指示を表示した例を示すもので、選択した各機器に対応するマーク、文字、数字等の表示49と、リモートコントロール装置のカーソルスイッチ鉤34に対応する選択アイコン50が表示され、画面の表示49にしたがってリモートコントロール装置のカーソルスイッチ鉤34を操作することにより各機器の動作をコントロールすることができる。具体的には図18（a）はテープデッキの自動反転および再生の画面、同図（b）はテープデッキの録音画面、図19はラジオの選局画面、図20はディスクプレーヤのトラック選択画面、図21はテレビ設定画面を示している。また図22（a）はVTRデッキの録画の予約確認の画面、図22（b）、（c）は録画設定を行う画面で、図22（b）は日時を指定する場合、図22（c）

は今から録画する場合の例である。また図22において、斜線が入っている部分すなわち色が変わった部分が選択している部分である。

【0036】

【発明の効果】請求項1のテレビジョン装置によれば、VTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキおよびラジオチューナを取付けたシャーシを、ブラウン管を取付けたキャビネットに固定したため、VTRデッキ、ディスクプレーヤおよびテープデッキの各カセットを使用することができるとともに、ラジオ受信およびテレビジョン受像が可能であるので、1台の機器で映像や音楽の鑑賞を手軽に楽しむことができるという効果がある。

【0037】請求項2のテレビジョン装置によれば、請求項1の効果のほか、VTRデッキはテープカセットを長手方向に装填するメディア装填口を正面から見て正面の右寄りに設け、かつVTRデッキを正面から見て左側に配置したので、VTRデッキの機構部分が左外側に位置することになり、この部分は蓋が不要となるので開閉蓋の小型化が可能となる。しかもメディア装填口がVTRデッキの正面からみて右寄りとなり機構部分が左側となることによりカバーロック解除ピンがVTRデッキの奥側となるのでテープカセットの挿入時の邪魔にならない。

【0038】請求項3のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、ケースを把持し第2のスイッチ手段を操作することによりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、操作鉤を操作することなくケースに触るだけでテレビジョン装置を動作可能な状態にできるので操作容易になるとともに鉤数を削減できる。

【0039】請求項4のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、第1のスイッチ手段と第2のスイッチ手段とを積層状態に配置し、1個の押鉤の押圧力により第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段のオンオフを制御するように構成したため、第1のスイッチ手段および第2のスイッチ手段を操作することによりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープデッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、電源のオンと機器の選択が同じ鉤で行えるので操作容易になりかつ鉤数を削減できる。

【0040】請求項5のテレビジョン装置のリモートコントロール装置によれば、各操作鉤の操作面に各選択対象に対応した識別マークを刻設したため、スイッチ手段の操作によりVTRデッキ、ディスクプレーヤ、テープ

デッキ、ラジオチューナまたはテレビジョンによる映像や音楽の鑑賞を1台の機器で手軽に楽しむことができるとともに、操作鉤の識別マークに指を当て擦るだけで選択対象を判別できるので暗がりの中でも操作が容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1の実施例の正面図である。

【図2】開閉蓋を開いた状態の斜視図である。

【図3】開閉蓋を閉じた状態の斜視図である。

【図4】部分分解状態の概略断面図である。

【図5】開閉蓋の開き状態の部分側面図である。

【図6】VTRデッキの内部構造の説明である。

【図7】そのVTRデッキの正面図である。

【図8】テープカセットのカセットケースの挿入端側からみた側面図である。

【図9】カセットケースの上からみた平面図である。

【図10】カセットケースのカバーの開き状態を説明する部分側面図である。

【図11】第2の実施例の概略側面図である。

【図12】第3の実施例の回路ブロック図である。

【図13】リモートコントロール装置の正面図である。

【図14】第4の実施例の部分回路図である。

【図15】第5の実施例の操作鉤の表面図である。

【図16】第6の実施例のテレビ放送(a)とVTRデッキ(b)を選択している場合のテレビ画面図である。

【図17】テープデッキ(a)、ラジオ(b)およびディスクプレーヤ(c)を選択している場合のテレビ画面図である。

【図18】テープデッキの自動反転および再生の選択を表示する場合(a)および録音設定の選択を表示する場合(b)のテレビ画面図である。

【図19】ラジオの選局のテレビ画面図である。

【図20】ディスクプレーヤのトラック選択のテレビ画面図である。

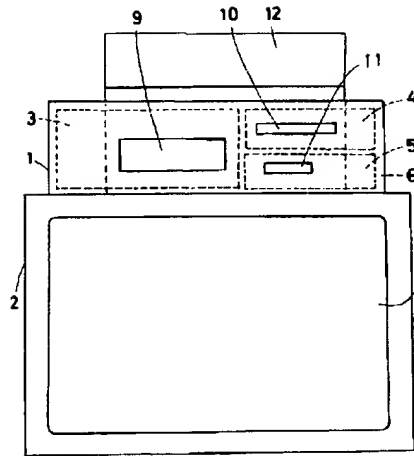
【図21】テレビ設定のテレビ画面図である。

【図22】VTRデッキの録画の予約確認する場合(a)および録画設定の画面予約する場合(b)、(c)のテレビ画面図である。

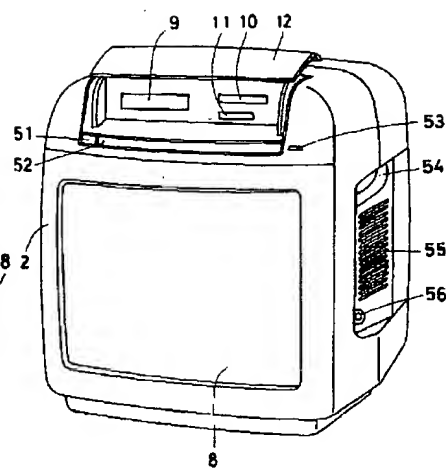
【符号の説明】

- |   |          |
|---|----------|
| 1 | シャーシ     |
| 2 | キャビネット   |
| 3 | VTRデッキ   |
| 4 | ディスクプレーヤ |
| 5 | カセットデッキ  |
| 6 | ラジオチューナ  |
| 8 | ブラウン管    |

【図1】



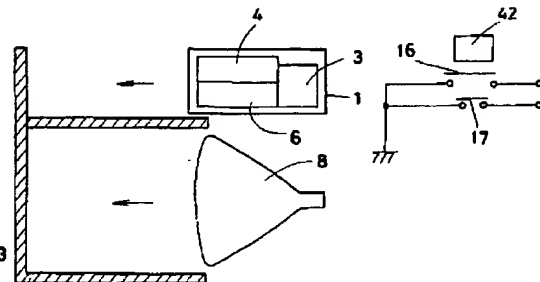
【図2】



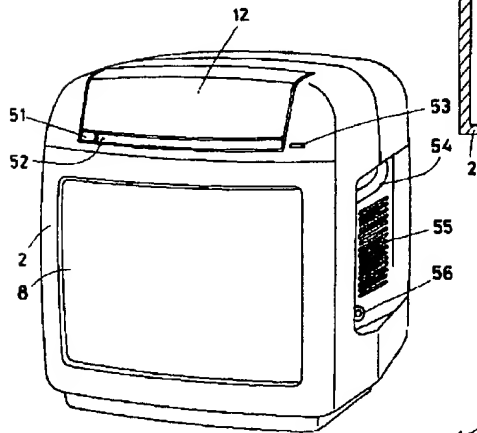
- 1—シャーシ  
2—キャビネット  
3—VTRデッキ  
4—ディスプレイ  
5—カセットデッキ  
6—ラジオチューナ  
8—ブラウン管

【図4】

【図14】

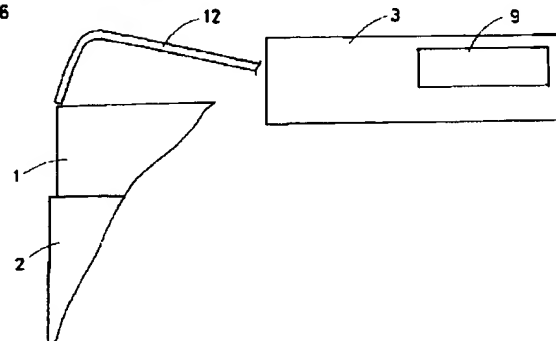


【図3】

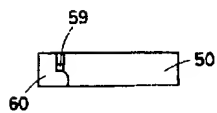


【図5】

【図7】

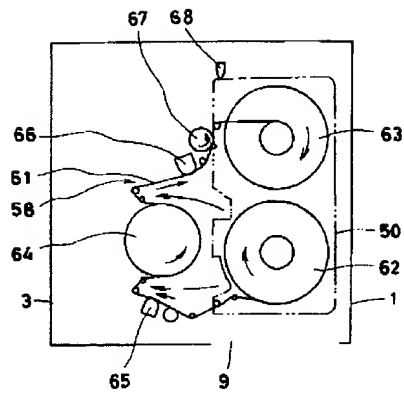


【図8】

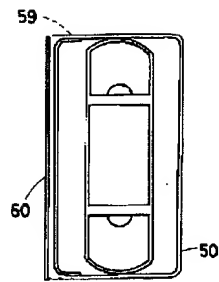




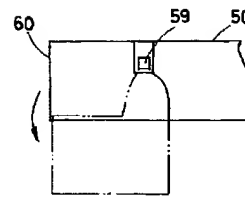
【図6】



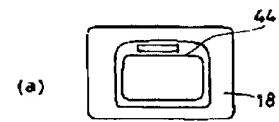
【図9】



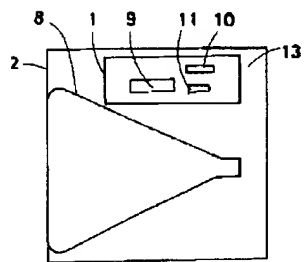
【図10】



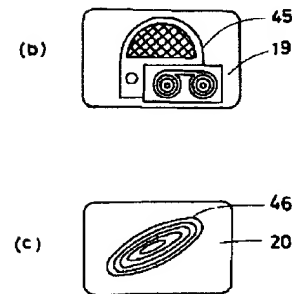
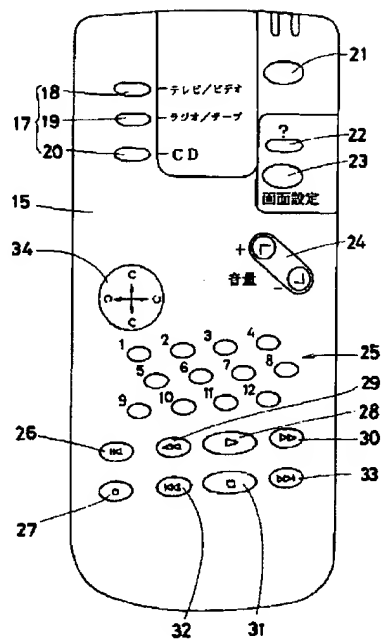
【図15】



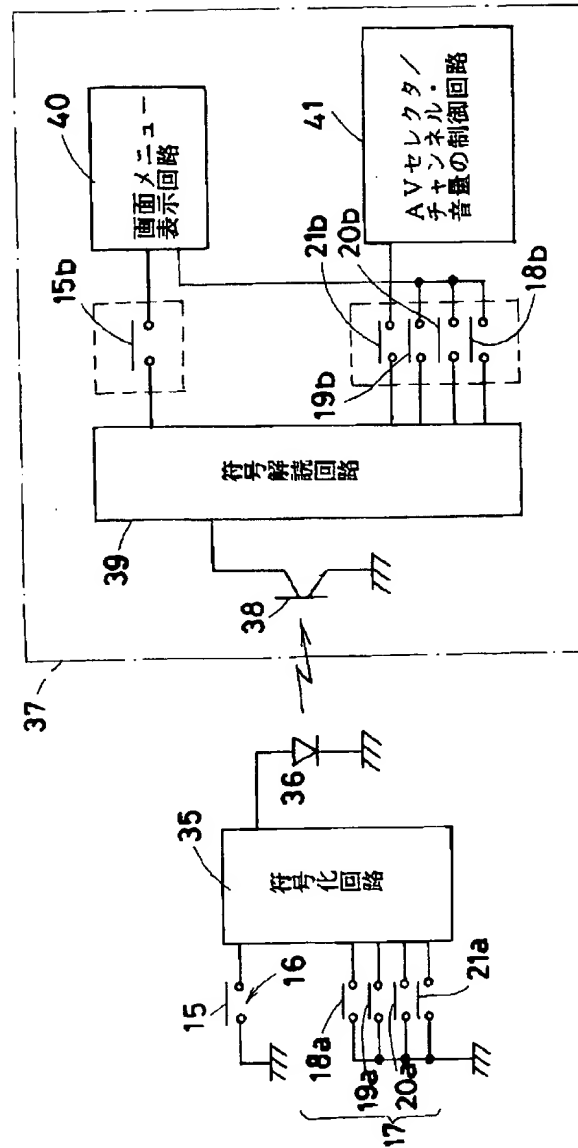
【図11】



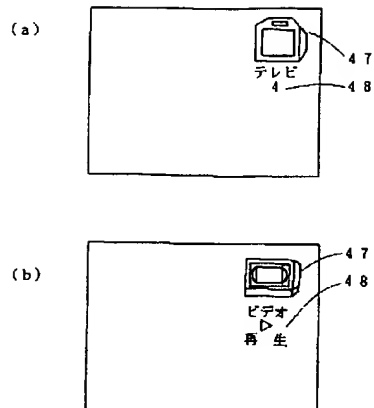
【図13】



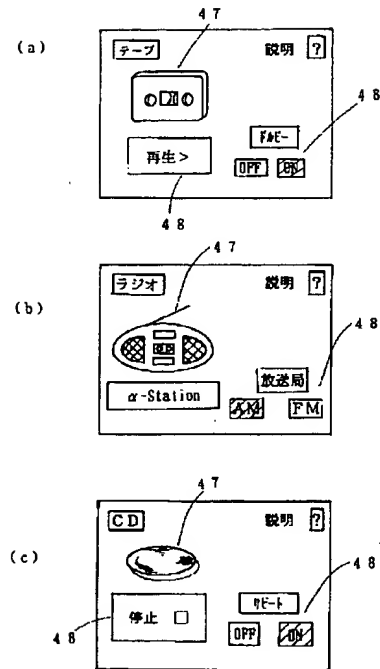
【図12】



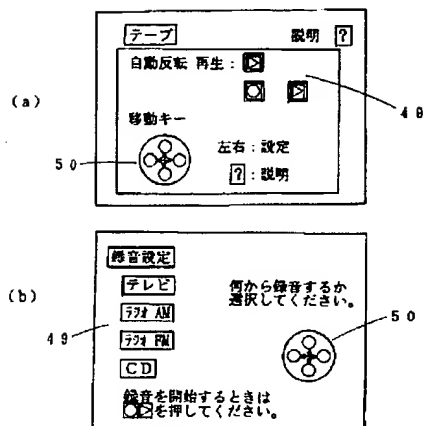
【図16】



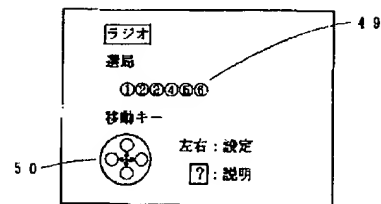
【図17】



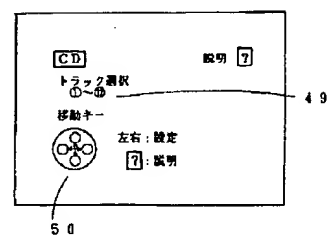
【図18】



【図19】



【図20】



【図21】

49

テレビ設定			
画面表示	ON	OFF	
入力切替	テレビ	外観	
背景色	青	白	
シーン	テレビ	静	
リマイン	なし	30分	60分
	90分	120分	

【図22】

(a)

49

録画設定		登録	説明	?
今から	日時指定	予約解除		
いつ	曜日	CH	始まり	時間
1	火	4	午前0:00	0:00
2	予約されていません。			
3	予約されていません。			
4	予約されていません。			

(b)

49

録画設定		登録	説明	?
今から	日時指定	予約解除		
週	今日	次の	2週間	
月	日	時	分	
時間	なし	午後		
□□:□□から□□時□□分				
予約	4			

(c)

49

録画設定		登録	説明	?
今から	日時指定	予約解除		
時間	なし	30分	60分	
		90分	120分	
予約	4			

フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>3</sup>

H 0 4 N 5/44

5/782

5/91

識別記号 庁内整理番号

A

K 7916-5C

L 4227-5C

F I

技術表示箇所

(72) 発明者 熱田 裕史

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(72) 発明者 山本 浩司

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内